PASSIOPASSIVE NEWS LETTER

2023

8

August

OB様邸探訪

デザイナーと建てた家

ウラ面をご覧ください！

パッシオパッシブ通信を
毎月お届け致します

8/20(日)
開催

マシュマロタッチで

アートパネルワークショップ

夏休みの宿題にもなるよ

開催日時 8/20(日)9:30～
(所要時間:約1時間)

会　場 丸亀市垂水町3145-1
パッシオパッシブオフィス

参加費用 ¥1,000/人(材料費込み)

持ち物 汚れてもいい服装・エプロン

マシュマロタッチってな～に？

与那国島でしかとれない化石サンゴが主原料。
天井・壁に塗るだけで湿気を抑え、家の臭い対策になる多機能性塗り壁材です！！

ワークショップのご予約はコチラから

建築コスト削減ポイント、
セルフビルドにも最適！！
家族で楽しく
塗り塗りしよう～♪

クロスの上から
塗れるからリフォームも
楽々OK！

電気代も
メンテナンス費用も
こわくない!!

これから建てるべき家
＝パッシブハウス

パッシブハウスを建てる工務店の

予約制 家づくり勉強会

8/6日・11金祝・20日・27日

時間/13:30～(2時間程度)
会場/丸亀市垂水町3145-1
パッシオパッシブオフィス

WEB予約◀

みんなでパッシブハウスを
勉強しよう！

講師 佐藤 大治

【家づくり勉強会プログラム】

- ■パッシブハウスとは？
- ■パッシブデザインと高断熱高気密住宅との違い
- ■パッシブハウスは安い！？
- ■後悔しない家づくりのコツ
- ■ドイツ生まれのパッシブハウス用の窓、スマートウィン「佐藤の窓」解説
- ■パッシオパッシブがパッシブハウスを日本一建てやすい理由

キッズコーナー完備♪

香川・丸亀の工務店

PASSIO PASSIVE

株式会社パッシオパッシブ

〒763-0095

香川県丸亀市垂水町3145-1

TEL:0877-28-2855

FAX:0877-28-6278

建築工事業許可番号 香川県知事(般-25)第8130号

パッシブハウスジャパン賛助会員
PASSIVEHOUSEJAPAN

◀パッシオパッシブ通信の定期購読はコチラから

メルマガ登録でパッシオパッシブの施工事例や
知って得するお家づくりについての情報を「シューイチ」で配信中♪

●登録方法はホームページの メルマガ をクリック!

HP:https://passiop.com/

パッシオパッシブ

passiopassive

@passiopassive

くらしのコラム ～未来のために循環型の森をつくろう～

梅雨も明け、夏休みがスタートしましたね。今年も例年に続き暑い暑い夏になる模様で、香川県では毎年水不足が懸念されます。自分が出来る節水対策、大事です!!

とてもありがたいことに、災害が少ない香川県。それでも大雨や長雨、ゲリラ豪雨や台風など、夏は心配です。今年の梅雨も九州地方では大きな土砂崩れが発生し犠牲者が出たことに胸が痛みます。つい先日の研修で、ドイツと日本で森林について研究されている池田憲昭さんのお話をお伺いする機会に恵まれました。池田さんによると、日本の森林は、皆伐（木を全部切って使う）なので洪水が起き土砂崩れにつながっている。ドイツでは間伐（木を計画的に切って使う）を行い森林土壌がしっかりしていて、つまり、緑のダムのおかげでこうした災害を防ぐことができているのだそう。数年前に起きた熊本の大雨による土砂崩れも、皆伐によるものだろうとおっしゃる池田氏は“循環型の森”を作ることが大切ともお話されました。“循環型の森”とは?私なりにこう解釈しました。皆伐から間伐にシフトチェンジして定期的に木を切る→森林土壌が洪水防止につながる→間伐のために定期的に森で作業しやすいように、林道を整備→林道があればそこは市民の散歩道や憩いの場になり、森が身近な存在になれば子供たちの教育につながる→林業が見直され、産業として魅力的なものになるともっと良くなる…こんな感じでしょうか??

木で家を建てている工務店の私たちは、どこの木をどこから買って家を建てるか?について考えます。できれば香川県、四国の木材を使って家を建てたい!その大きな括りとして、森林業の現状を理解することの大切さを実感した研修でした。

水、空気、自然…これら全部、私たちが生きるために必要なものです。毎日の生活の中で、自分にできることは何か?皆さんも考えてみてください!

インテリアコーディネーターmisa

＼ひと工夫でよりよい暮らしを／

インテリア特集 ~サスティナブルなインテリア~

地球環境に配慮された“サスティナブル”な素材を選ぶことが意識的に根付いてきた今日このごろ。おうちの建材にもサスティナブルなモノを取り入れていきたいですね。質の高いものを選び一生使い続けるコトで環境への貢献にもなります!
今回はサスティナブルな建材を使ったインテリアをご紹介します。

リノリウムの主原料は亜麻仁油・石灰岩・木粉、松脂などの天然素材からつくられる建材です。土に埋めると自然に還っていき、主原料である亜麻仁油には抗菌作用があります!クセのあるニオイは時間とともに消えていきます。

コルクは「コルク樫」という木の表皮が原料。コルク樫の表皮は約9年ごとに再生し、1本あたり15~18回も採取できるため資源保護の面からも注目されています。しなやかな弾力性ですべりにくく、歩きやすい素材です。

古材を再利用すれば、新たな木材を暢達する必要がなくなり、廃棄物も削減することができます。
木材の色あいなど少しずつ違うため、新しい木材にはないヴィンテージ感を作り出すことができます。

無垢のフローリングや無垢の造作家具は、痛んだら替えるのではなく削って、再塗装すれば新しく蘇ります。肌に触れるフローリングは一生使い続けるからこそ本物にこだわりたいですね!

OB様邸探訪

デザイナーと建てた家

玄関ドアを開けて、さぁ、どこに行く??これ、お出かけの時のフレーズじゃなくておうちに帰ってきた時のフレーズ！玄関入るといろんなところに行けちゃうK邸は、玄関土間からリビングはもちろん、シューズクローク、その先には洗面脱衣、ファミリークローク、プライベートルームまで続く裏導線がとても便利な間取り。おまけにウッドデッキにも出られるので、土間空間とデッキが一体化して中庭遊び場としても大活躍の予感です。

リビングの大きな格子窓はもちろん木製サッシ。南面道路に面するK邸ですが、少し高い位置に窓を配置することでロールスクリーンを下さなくてもプライバシーを確保。天井も高いので開放感たっぷりなLDKとなりました。またテレビを壁掛けすることで余計な家具の出っ張りを無くしたのもリビングを広く使えるポイントとなりました。

II型キッチンに横付けしたダイニングテーブルも迫力がありますね！食事の支度をするお母さんの周りで子供たちが宿題ができるカウンターもできました。

キッチンからそれぞれの場所へのアクセスもあの“裏導線”が大活躍します。忙しいお母さんの強い味方ですね！

街中のコンパクトな平屋。デザインと使い勝手の良さの両方を兼ね備えたおしゃれなお家になりました。

丸亀市　K様邸　竣工/2022年4月
延床面積/100.2m²（30.31坪）